

## 編集後記

先日たまたま某 Y フォームページを見ていて「最近の人気ワードランキング」が目にはいった。1位は、再び訪れた“たまごっち”であった。そういえば、たまごっち購入目的の長蛇の列を目にすることがあるので、またはやっているであろう。上位かと思われた“電車男”はランキング外であったが、職場の野球部の仲間内で電車男の話題が出た際、なぜかほとんどの人があのドラマを見ていた。通じるものがあるのか、それとも、はやりの一つか？

電車男といえば“アキバ”，秋葉原と言えば、構想から20年の沈黙を破りついに開通した High speed の“つくばエクスプレス”であろう！もっと早くできていればと思わないわけではないが、非常に便利になったのは言うまでもない。反面、連日東京駅八重洲口で長蛇の列を作っていた高速バスが、ほぼ無人状態になったのには驚いた。私自身は復路に高速バスを利用することが多いので、がらがらで

あっても今までどおり約10分間隔で走らせ続けてほしいと願うが、如何になるであろうか？

先日あるコラムで、野依良治博士が研究テーマにも“寿命”があるのではないかと話されていた。研究の寿命の決め手はいくつかあり、たんなる“はやり・すたり”だけではないだろうが、内容はどうあれ、はやりはとても重要なことのひとつのように思える。数号前の編集後記では、「日本に ITER が誘致されなかったら、日本には核融合ブームが起きず後継が育たないのでは」と危惧されていたが、皆様方は現状および今後をどう思われるであろうか。今回この欄を書くにあたり、参考に過去1年ほどの編集後記を読み返してみた。すると、核融合を含めた日本の科学、さらには教育の今後に対する不安感について、たくさん記述されているように感じた。出生率が下がっている今、例えばブームが来なくともなんとかする草の根的活動も大切なのかも！？と今さらながら思った次第である。（榊田 創）

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	高村 秀一	副 会 長	山中 龍彦 藤原 正巳	常務理事	岡村 昇一（総務委員長）
理 事	今井 剛 奥野 健二 佐藤浩之助 畠山 力三（企画委員長） 森 雅博		榎戸 武揚（広報委員長） 尾崎 章（財務委員長） 田中 和夫（プログラム委員長） 堀岡 一彦（広告委員長） 吉田 善章（編集委員長） 藤山 寛		岡野 邦彦（出版委員長） 際本 泰士 二宮 博正 松岡 啓介
監 事	長谷川 満				

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 吉田善章（東大新領域）

エディター 関子秀樹（九大）、関 昌弘（原研）、田中雅慶（核融合研）、西村博明（阪大）、福山 淳（京大）、藤山 寛（長崎大）  
編集委員 荒巻光利（名大）、飯塚 哲（東北大）、岩尾 徹（武蔵工大）岩切宏友（九大応力研）、岩前 敦（京大院工）、上田良夫（阪大院工）、江角直道（長野高専）、片沼伊佐夫（筑波大プラズマ）、門 信一郎（東大高温プラズマ）、菅野龍太郎（核融合研）、近藤公伯（阪大院工）、榊田 創（産総研）、重森啓介（阪大レーザー研）、篠原俊二郎（九大院総理工）、鈴木 哲（原研那珂）、妹尾和威（核融合研）、高杉恵一（日大量科研）、高橋栄一（産総研）、永岡賢一（核融合研）、服部邦彦（東北大院工）、林 康明（京都工繊大）、檜垣浩之（筑波大プラズマ）、増崎 貴（核融合研）、南 貴司（核融合研）、山内有二（北大院工）、山本 靖（京大エネ理工研）、山本 巧（原研那珂）

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第81巻第10号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: jspf@nifs.ac.jp URL: <http://www.jspf.or.jp/>

印刷 株式会社荒川印刷

2005年（平成17年）10月25日

定価1,365円（本体1,300円）

本誌に掲載された寄稿等の著作権は（社）プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月、第1金曜日に開かれています。但し、第1金曜日が休日あるいは5日以降の場合はその前週の金曜日に開かれます。